

2022年11月17日

各 位

会 社 名 ラクオリア創薬株式会社
代 表 者 名 代表取締役 武内 博文
(コード番号：4579)
問 合 せ 先 取締役 須藤 正樹
(TEL. 052-446-6100)

P2X7受容体拮抗薬の第Ⅱ相臨床試験開始および 旭化成ファーマからの一時金受領のお知らせ

このたび、当社は、当社の導出先である旭化成ファーマ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：青木 喜和、以下「旭化成ファーマ社」）から、当社が旭化成ファーマ社に導出したP2X7受容体拮抗薬（化合物コード：AK1780/RQ-00466479、以下「本化合物」）につきまして、旭化成ファーマ社のライセンス先であるEli Lilly and Company（本社：米国インディアナ州インディアナポリス、以下「リリー社」）が、慢性疼痛患者を対象とした第Ⅱ相臨床試験を開始し、マイルストーンを達成したとの連絡を受けましたので、お知らせいたします。これにより、当社はマイルストーン達成に伴う一時金を受領することが確定いたしました。

本化合物は、強いP2X7受容体拮抗作用と中枢移行性を兼ね備え経口投与が可能な低分子化合物であり、当社と旭化成ファーマ社との共同研究によって創製されたものです。

P2X7受容体は、中枢神経系のグリア細胞に多く発現しているイオンチャネルの一種であり、慢性疼痛の形成や維持過程に深く関与していることが知られています。慢性的な痛みを抱えている成人は数多く、米国では5,000万人を超え、慢性疼痛に係る費用は年間で6,350億米ドルに上るとされています。また、日本では20歳以上の22.5%（約2,300万人）が慢性疼痛を抱えているという報告がなされています^(※1)。

疼痛治療薬の世界市場は、2020年に217億米ドル（約2兆3,800億円）に達し、このうち神経障害性疼痛治療薬が約半分の108億米ドル（約1兆1,800億円）を占めています。慢性疼痛の中でも神経障害性疼痛は、既存の鎮痛薬が十分に奏効せず、副作用、依存、濫用等の問題もあることから、新たな治療選択肢が強く求められる医療ニーズの高い疾患とされています^(※1)。

当社は、2018年3月、旭化成ファーマ社との間でP2X7受容体拮抗薬に関するライセンス契約を締結しました。その後、旭化成ファーマ社によって本化合物の前臨床試験および第Ⅰ相臨床試験が実施され、2021年1月、旭化成ファーマ社はリリー社との間でライセンス契約を締結しました。以降の本化合物のグローバル開発と承認取得に向けた取り組みはリリー社が行うこととなっております。

当社は、旭化成ファーマ社とのライセンス契約に基づき、本化合物の開発段階に応じたマイルストーンおよび販売後は販売額に応じたロイヤルティとして旭化成ファーマ社が得た収益に対して一定の料率で計算される額を受け取る権利を保有しております。本件に伴い、当社は旭化成ファーマ社から4百万米ドルを受領し、2022年12月期第4四半期の事業収益として計上します。本件による2022年12月期通期業績に対する影響につきましては、2022年11月17日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

当社は今後も引き続き、旭化成ファーマ社との連携をより強固にし、開発支援並びにサブライセンス契約支援を継続して実施し、慢性的な痛み苦しむ患者さまに新たな治療の選択肢を提供することで、患者さまのQOLの向上に一層貢献できるよう努めてまいります。

以 上

<ご参考>

※1 情報出所：日経バイオ年鑑 2022（日経 BP 社、2022）

[\(https://bizboard.nikkeibp.co.jp/bp_bto/atclyb/22/111800069/\)](https://bizboard.nikkeibp.co.jp/bp_bto/atclyb/22/111800069/)

換算レート：1 米ドル=110 円（2020 年当時のレートを使用）